

保護司会会報

発行 ■ 西多摩地区保護司会 会長 武内昌一 編集 ■ 西多摩地区保護司会広報委員会 発行日 ■ 平成27年7月15日



■白い斜面（サマーランドにて）



目次

平成27年度定期総会	2
役員名簿	3
事業計画・新任保護観察官あいさつ	4
新会長・副会長あいさつ・社会参加活動	5~6
多摩連理事会・更生保護女性会総会	7
会務報告・理事会報告・編集後記	8

平成二十七年度 定期総会開催

広報部 齋藤 徹

新緑の光輝く四月三十日に、平成二十七年度西多摩地区保護司会の定期総会が青梅市役所で開催された。

西多摩地区保護司会八分区から百十九名の保護司が集い、来賓には東京保護観察所立川支部の南元支部長、同小川主任保護観察官、林田保護観察官、多摩地区保護司会連絡協議会の森久保会長と青梅市の池田副市長、西多摩八市町村の担当課長及び西多摩地区更生保護女性会の小野会長、そして福生・青梅・五日市の各警察署生活安全担当課長等二十六名のご臨席をいただき、総勢百四十五名の関係者が出席して盛大に行われた。

江川副会長の司会進行により、吉澤会長が挨拶に立ち「再犯防止と犯罪抑止に関する保護司活動や、四部会の活発な活動ができた」との報告があつた。

続いて議長に檜原分区の福田分区長を選出して議事に入り、「平成二十六年度事業報告及び収支決算報告」と監査結果の報告後原案どおり満場一致で承認された。

また、「平成二十七年度事業計画及び収支予算(案)」が提案され、いざ

れも満場一致で可決された。次に、「平成二十七・二十八年度役員の選任について」の提案があり、会長に武内昌一氏、副会長に細田忠昭、江川功、松本則夫、齋藤徹の四氏が選任可決された。続いて、「顧問の承認について」の提案があり、下嶋和彦氏と吉澤洋子氏の顧問就任が承認された。

議事終了後、武内新会長の挨拶があり、「会発展のため全力を尽くす」との意思表明のあと、退任保護司、退任役員への感謝状が贈呈され、退任保護司を代表して桑田孝一氏から謝辞があつた。

その後、来賓祝辞をいただき、南元支部長より更生保護の状況と祝辞があり、多摩連森久保会長からは総会の素晴らしい出席率をたたえ、「新しい施策に向け新体制で取組んでほしい」との激励をいただいた。

また、公務で欠席された竹内市長のメッセージを、池田副市長が代読され、福生警察署生活安全課の橋本課長からは祝辞とともに「少年犯罪と特殊詐欺について」の現状をお話しいただいた。

最後に、平野副会長の閉会の言葉で総会が滞りなく終了した。



来賓



満席の会場

西多摩地区保護司会役員名簿

顧問	監事	理事										理事(会計担当)	理事(庶務担当)	常任理事				副会長	役員				
		吉下	中森	平大本	鈴岸	柏井	漸前	佐久	森吉	吉川	辻竹	並小	近野	中原	新宮	村柳	荻三	服森	福原	山小齋	松江	細武	
澤嶋	島田野	保橋	木野	谷上	中園	谷間	田野	中杉	本田	木峰	藤村	村村	島井	澤野	内島	木部	下田	島田	林藤	本川	田内	氏	
洋和	四子	彦郎	辰雄	義忠	道	賢邦	砂由	一俊	順栄	恵良	邦恒	頼經	みゆき	正光	昭初	謙三	重茂	宮守	樹夫	喜代進	則子	忠昌	名
子彦	彦勝	二郎	勝雄	茂穂	子基	次務	夫利	彦彦	次子	治子	昭雄	夫功	悟子	弘治	治美	郎守	樹夫	進な	子徹	功夫	昭一		
青梅	瑞穂	福生	あきる野	奥多摩	青梅	あきる野	瑞穂	日の出	福生	青梅	福生	あきる野	檜原	羽村	青梅	青梅	福生	青梅	瑞穂	福生	瑞穂	青梅	分區
		広報部			地域活動部				研修部			総務部		広報部		地域活動部	研修部	総務部	広報部長	地域活動部長	研修部長	総務部長	所屬部

西多摩地区保護司会總会



新会長挨拶

西多摩地区保護司会紹介



前会長挨拶

西多摩地区保護司会總会



記念品贈呈

平成二十七年度 事業計画が承認される

平成二十七年度事業計画が定期総会において次のように提案され、承認されました。

広報部 三ツ木謙三郎

平成27年7月15日

西多摩地区保護司会会報

西多摩地区保護司会は、4市3町1村の八行政区にまたがる広範囲に配属された保護司百四十四名の会員で組織されております。

当保護司会では、保護司法第十三条に規定されている次の4項目

①犯罪をしたもの及び非行のある少年の改善更生を助けまたは、犯罪の予防を図るために啓発及び宣伝活動・民間団体への協力等にかかる計画の策定その他保護司の職務に関する連絡及び調整

②保護司の職務に関する研究及び意見発表

③保護司の職務に関する研究及び意見発表

④法務省令で定める保護司の職務の円滑かつ効果的な遂行を図るために、会長を中心とした役員により、総務部・研修部・地域活動部・広報部の4部門体制にて、西多摩地区保護司会活動を推進してまいりますと提案され、承認されました。

具体的な計画内容は以下の通り

- ①会議の開催
- ②犯罪予防活動の推進
- ③処遇支援活動の推進
- ④社会貢献活動の取り組み
- ⑤各種研修への参加
- ⑥関係機関が開催する総会及び諸会議並びに諸行事への参加
- ⑦協力組織との連携の促進
- ⑧就労支援事業の推進
- ⑨会員相互の親睦活動の実施
- ⑩広報活動の実施
- ⑪サポートセンターの運営体制の整備
- ⑫平成二十七年度西多摩地区保護司人材確保の活動



東京保護観察所
立川支部
保護観察官
林田 実代

ご挨拶

りませんが、必ずその日が来ることを信じ、私も仕事に邁進したいと思います。
皆様のご指導のほどよろしくお願ひいたします。

役員改選に伴う各自治体

首長さんへの表敬訪問

四月三十日の西多摩地区保護司会総会により平成二十七年・二十八年度の新会長、副会長に就任した五名が、五月十二日に西多摩地区的各自治体首長さんへ表敬訪問いたしました。(檜原村役場前にて)



数学のように明確な正解のない問題を、ただ本人のためには何が必要かという点においてのみ考え続けることはとても気力体力のいる仕事だと感じ、常に厳しくも暖かく対象者に寄り添う保護司の先生方の姿に、改めて尊敬の念を抱いた次第です。答えるのは明日か十年後か分か

会長就任のあいさつ



武内 昌一

「春の訪ねは、
出会いと別れの
季節でもある」
と、ある保護司

が保護司会の会報で述べている。

人の出会いと新体制作りは草木の芽生えと歩調を合わせるように始まつた。残る人、去つていく人、新たに分区長、理事に任命された人、それぞれのこれから的人生模様を垣間見ることができる。

四月三十日（木）平成二十七年・二十八年の西多摩地区保護司会の人事が総会で承認され新執行部が発足した。与えられた職務が果たせるか、不安がつきまとつた。それを如何にしようかと、胸中が渦巻き時が過ぎて行つた。

悩み続けると、理想と現実の区別すら定かでなくなる。生き様と悩み、人が背負つた課題であつた。課題はあらゆる団体にある。

新しく出会つた人達、新しく責任者に任じられた人達と保護司会の運営と課題に向き合つていかなければならぬ。解決策が見出せるよう努力する、と同時に会員及び関係者の支援と協力を願いし、職務を務めさせていただきます。

総務部長就任にあたり



細田 忠昭
総務部長

私は平成十九年から今日迄の

八年間総務部に継続して勤務して参りました。就任して三年後から諸制度が矢次早に施行され、各担当の方々、自宅で四苦八苦しながら対応共々、自宅で四苦八苦しながら対応して参りました。

平成二十四年待望のサポートセンターが多く難題を抱える中、諸先輩幹部の熱心な取組みにより、無事に実現致しました。これら諸問題に初段階から関わった経緯もあり、同一部での長い勤務となりますが、最後の奉公として現職を受けさせて頂いた次第です。

今年度は、三年前施行された会計制度が見直され、効率化されたシステムが導入されます。これらを踏まえ、本期の部の運営方針としては、一つには、新会計制度を早期に定着させ、各部会の負担軽減を図る。二つ目には、運用から四年目を迎えるサポートセンターの事務効率化を中心と課題に向き合つていかなければならぬ。解決策が見出せるよう努力する、と同時に会員及び関係者の支援と協力を願いし、職務を務めさせていただきます。

これら施策を今期留任して頂く経験豊富な部員と意欲に燃えた新任部

員が一丸となり取組んで参ります。皆様のご支援ご協力の程よろしくお願い申しあげます。

二期目の大役を受けて



江川 功
研修部長

皆さんこんにちちは。私は前期に引き続き二期目の副会長職を仰せつかりました。

前期にお引き受けした時には、まだ保護司の在任期間も短く、さらには体調も悪く歩行も困難な状況でした。

このような中、副会長を受け総務部長の重責を担当することになり不安でいっぱいでしたが、皆さんのご協力を得ながら何とか務めることができます。どうぞ来たのかなど思つております。

本期も再度副会長職を要請され、体調も完治しておりますので一度は辞退も考えておりましたが、選考委員の方々や周囲の同志から強力に推挙いただき、お引き受けすることとなりました。

また、本期は総務部長から研修部長に担当が変更になりましたが、更生保護の目的を達成するため必須となる研修に向けて一生懸命努力して参ります。

部員の皆さん協力を得て頑張つ

地域活動推進に向けて



松本 則夫
地域活動部長

この度、副会長並びに地域活動部長を仰せつけられました。会員、部員の皆様のご支援とご協力をいただきながら取組んでまいりたいと思います。どうぞ

宜しくお願ひ致します。

近年、住民の高齢化や核家族化、高度情報機能化などの変化により地域状況が見えないと、地域のチカラが低下しているなどの課題が出てきています。そのなかで、地域における保護司活動も年々難しさが増してきています。これらの地域状況に向き合いながら対処していく一方、新たに制度化された「社会貢献活動」にも取組み、さらに、従来からの「社会を明るくする運動」や「社会参加活動」「地域活動推進協議会」等についても地域の実情や特徴を把握しながら、活動を少しでも前進できる様に務めてまいります。

また、西多摩地区保護司会で、これまで諸先輩が長年ご尽力されて育んでこられた八分区の連携・連帯力をさら

てまいりますので今後ともよろしくお願い致します。

に生かして、更生保護の活動の輪が拡がっていくことをめざしていきたいと思っています。

広報部長就任にあたり



広報部長
齊藤 徹

本年度役員改選により副会長を仰せつかり、
合わせて広報部長を担当することになりました。

情報発信の責任者としてその職責の重さに身の引き締まる思いを致しておりますが、幸いにして、直接私を助けて下さる部員の方々は長年のキャリアの持ち主でありますので、大いにご指導願つて、会報の発行を通して、保護司としての資質向上に向けて微力ながら寄与して参りたいと考えております。

さて、皆さんにお届けする会報は西多摩地区保護司会及び各分区の活動状況や、保護観察所の情報、法整備の状況、会員相互の情報交換など情報の発信として重要な役割を担っていますが、もう一つ、保護司会活動の記録として後世に残す役割もあります。そのため、写真を交えて豊富な情報や紹介記事を掲載してまいりたいと思います。会員皆さんの記

事や写真の投稿をよろしくお願ひいたします。

最後に、広報部員十名で、より読みやすく楽しい機関誌として充実させてまいりますので応援よろしくお願いいたします。

- ・十月十五日青梅市福祉センター研修部「地域別定例研修第Ⅱ期」
- ・十月七日青梅市福祉センター
- ・十月十三日福生市商工会館
- ・十月二十二日あきる野市役所五階会議室

社会参加活動に参加して

広報部 齊藤 徹

「面接研修」

・八月二十七日羽村市生涯学習センター
「実務研修講座（ブロック別）」

・九月十四日あきる野市役所

会議室

・二十一日（日）、平成二十七年度第一回社会参加活動が、あきる野市草花にある「特別養護老人ホーム麦久保園」で実施されました。この活動も今年で十六年目を迎え、数多くの少年たちがボランティア活動を通して意識を変えるきっかけになりました。

梅雨空の重い雲が垂れ込める六月二十一日（日）、平成二十七年度第一回社会参加活動が、あきる野市草花にある「特別養護老人ホーム麦久保園」で実施されました。この活動も今年で十六年目を迎え、数多くの少年たちがボランティア活動を通して意識を変えるきっかけになりました。

地域活動部

社会貢献活動

第六十五回社会を明るくする運動西多摩地区地域活動推進協議会開催

広報部

編集会議 五回（十一月発行分）
会報発行 十一月一日四百三十部

会報発送 西多摩八分区
多摩連九地区保護司会
東京保護観察所及び

立川支部
西多摩桐友会
更生保護女性会
警視庁福生・五日市

西多摩地区保護女性会との協議会
西多摩地区行政参与協議会
西多摩地区常任理事会、理事会
総務部会、常任理事会、理事会
「更生保護相談」

・八月二〇日羽村市コミニティーセンター
・九月十七日秋川ふれあいセンター

各分区の分区長兼常任理事

青梅分区	羽村分区	あきる野分区	瑞穂分区	福生分区	檜原分区
森下 初美	荻島 喜代子	小林 謙三郎	森下 茂樹	原島 重守	福田 みなみ
重守 進	茂樹 宮夫	初美 宮夫	原島 重守	森下 初美	荻島 喜代子
原島 重守	茂樹 宮夫	初美 宮夫	森下 初美	小林 謙三郎	羽村分区
重守 進	茂樹 宮夫	初美 宮夫	原島 重守	森下 初美	あきる野分区

で作業が続けられました。作業が終わると参加者全員で懇親会が行われ、園から提供されたお菓子や酒饅頭を頂きながら八名の少年たちが各自感想を述べてくれました。

少年たちは「これまで経験したことのない仕事をして疲れたけれど良い体験が出来た」と、明るく語ってくれました。

最後に、石井統括官と小川主任保護観察官の講評があり、「朝の緊張した表情と比べ充実した表情になつていて。今日の体験を今後に生かしてほしい」とのエールが少年たちに贈られました。



多摩連理事会開催

広報部 斎藤 徹

平成二十七年五月十九日（火）多摩地区保護司会連絡協議会（略称・多摩連）理董事会が、東京保護観察所立川支部会議室において開催され、各地区から今年度理事約七十名が参



集しました。

同理事会においては、これに先立ち四月十五日に行われた新旧常任理事会の席上で選考された新役員案が承認を得て、次のとおり決定しました。

会長

記

野崎 重弥（北多摩北地区会長）

副会長・総務部長

平本 璇一（町田地区会長）

副会長・研修部長

柏谷 勝榮（北多摩西地区会長）

副会長・地域活動部長

鴨志 田守久（調布・狛江地区会長）

副会長・広報部長

須崎 英夫（北多摩東地区会長）

監事

馬部 久夫（調布・狛江地区）

比留間 克美（北多摩北地区）

議事は、あきる野市の山崎経子氏の名議長により、上程された全ての議案は満場一致で可決承認され、二十七・二十八年度の役員も決まり新たに始動いたしました。

議事終了後、来賓の方々からの挨拶を頂いているとき、グラグラと震度三強の地震がありましたが無事に治まりホットしました。

第二部は、日本レクリエーション協会所属・飯田弘氏による、「健康寿命とPPK運動」の講演がありました。

PPKとは、お年寄り

五月二十五日（月）狭山丘陵の緑に囲まれた瑞穂町ふれあいセンターにおいて、今年度の総会が、瑞穂町長、統括保護観察官等大勢の来賓を招き、総勢百十五名の参加を得て開催されました。

小野会長は「今年は西多摩更生保護女性会が創設されて五十周年を迎えます。記念式典を開催し、保護司会、関係諸団体と手を取り合つて新しい活動を進めてまいりたい」と抱負を述べていました。

平成二十七・二十八年度
西多摩地区更生保護女性会
正副会長名簿（敬称略）

会長 小野 静江 副会長 田中 雅代
副会長 坂本 洋子 副会長 数野 若江
副会長 中野 満子 副会長 羽生 潤子

が自立して元気で健康に暮らす運動として、ピンピングコロリと題して作られた言葉です。元気に暮らすには、体操だけでなく脳を鍛え、社会とのコミュニケーションをとることが大切であると話され、歌あり笑いありのゲームを交えた楽しい講演でした。いつまでも元気で、更女の活動が出来ますようにと祈りました。

女性の会らしく、参加者全員に黄色のマリーゴールドの鉢花がプレゼントされました。



西多摩地区更生保護女性会 総会の報告

会務報告

定例研修

十月七日（水）午後一時三十分
より「青梅市福祉センター」

退任保護司（敬称略）

長い間保護司活動への奉仕ありがとうございました。

平成二十七年五月十四日付定年

瀧上 和枝（青梅分区）

在職十六年

平成二十七年五月十四日付

江藤 勝（福生分区）

在職八年

今後の行事予定

力ワクセミング講座

八月二十七日（木）午後一時三十
分より「羽村市生涯学習センター
（ゆどろぎ）」

理事會報告

西多摩地区更生保護女性会 五十周年記念式典

十月二十八日（水）午後一時より
「青梅市福祉センター」

第六ブロック組織運営 連絡協議会

十月十四日（水）「多摩市」

第六ブロック組織運営 連絡協議会

十月十三日（火）午後一時三十
分より「福生市商工会館」

十月二十二日（木）午後一時三十
分より「あきる野市役所」

- 一 第六ブロック組織運営連絡協議会のテーマについて
- 二 西多摩地区保護司会年間行事予定表の作成について
- 三 退任保護司の弔問について
- 四 事務担当者会議（新会計制度について）

- 三 各分区の活動計画について
- 四 サポートセンターの管理運営について

その他の報告



西多摩保護司会理事一同

編集後記

若葉の美しい四月、平成二十七年度がスタート致しました。広報部も十名の新メンバーで、会報の発行に全力投球で取り組んで参ります。今号では総会の様子や、新役員の皆様のご挨拶を紹介致しましたが、日頃、保護司活動を通じて思うこと、地域内の珍しい所、季節感のある貴重な写真などお気軽に原稿をお寄せ下さい。充実した会報を目指し、努力を重ねて参りたいと思います。七月は第六十五回社会を明るくする運動強調月間です。八分区の活躍を期待致します。



本年度の広報部員

部長	齋藤 徹	(福生分区)
副部長	三ツ木謙三郎	(青梅分区)
副部長	荻島 初美	(羽村分区)
部員	濱中 賢次	(福生分区)
部員	井上 基	(日の出分区)
部員	鈴木 道子	(瑞穂分区)
部員	岸野 穂	(あきる野分区)
部員	柏谷 忠茂	(青梅分区)
部員	本橋 義雄	(青梅分区)
大久保 雄二		(奥多摩分区)

- 一 理事会メンバー紹介
- 二 各部の運営体制と活動方針について

協議事項

- 社明運動報告会及び理事会
- 九月十六日（水）午後四時より
「青梅市福祉センター」